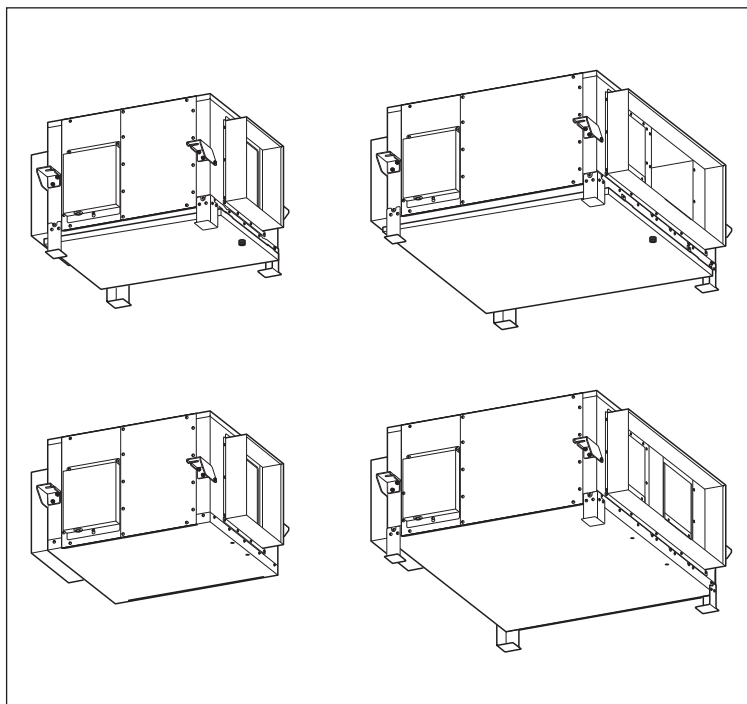


ビルトイン シロッコファン

取付工事・ 取扱説明書



販売店様・工事店様へ：

取付工事終了後、本書を必ずお客様へお渡しください。

- 取付工事を始める前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- 取付工事は販売店様、または専門の工事店様がおこなってください。
- 電気工事は必ず、有資格者である電気工事士の方がおこなってください。
- 本製品は三相用です。必ず電源を確認してから取付工事をおこなってください。

⚠ 警告

使用者、管理者が変わった場合には必ず本書をご確認いただき、指導をおこなってください。

本書を読まずに操作やお手入れなどをおこなうと、けがや事故の原因になります。

も く じ

安全上のご注意.....	2～3
本書の記載について.....	4
製品寸法図.....	5～6
仕様.....	7
取り付け前の調査と準備.....	8～9
取り付けかた.....	9～15
1. 本体の取り付け.....	9～10
2. ダクト工事.....	11
3. ドレン抜き工事.....	11～12
4. 電気配線.....	13～14
5. 試運転.....	15
保守・点検.....	16～20
保証とアフターサービス（必ずお読みください）.....	21
修理を依頼されるときは.....	22



安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意** : 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



接触禁止

- 電源が入った状態で運転が停止しているときや、異常時（こげ臭い）、停電時は、指や物を絶対に入れないこと
突然運転が開始し、けがや感電のおそれがあります



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは施工管理会社にご相談ください



使用禁止

- 製品に異常な振動が発生した場合、使用しないこと
製品や部品の落下により、けがをするおそれがあります



水ぬれ禁止

- 製品を水につけたり、水をかけたりしないこと
ショート・感電の原因になります



取付注意

- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります



必ず守る

- 厨房などの油煙を直接排気する場合は、必ずグリスフィルターを介して使用すること
火災の原因になります

安全上のご注意

警告



必ず守る

- ブレーカーを必ず設置すること
漏電のときに感電するおそれがあります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります



禁止

- 爆発性のある粉じんやガスの発生する場所、または発生するおそれのある場所に設置しないこと
爆発や火災の原因になります



禁止

- 製品の天地を逆にしたり取り付けたり、垂直にして取り付けないこと
落下によるけがの原因になります



禁止

- 炎が直接あたるおそれのある場所に取付けないこと
火災の原因になります



濡れ手禁止

- 電源スイッチをぬれた手で入/切しないこと
感電のおそれがあります



禁止

- ガス湯沸かし器・給湯機などの燃焼器具の排気ダクトに製品を取り付けないこと
火災の原因になります



必ず守る

- 可燃性ガスが漏れたときは、必ず窓を開けて換気すること
ガス漏れの際に運転をおこなうと、爆発火災の原因になります



必ず守る

- 使用を終了した製品は取り付けたまま放置せず、撤去すること
落下によりけがをするおそれがあります



操作禁止

- ガス漏れの際には、スイッチを操作しないこと
爆発・引火のおそれがあります



ブレーカーを切る

- お手入れ・保守点検の際は、必ず分電盤のブレーカーを切ること
感電やけがをするおそれがあります



取付注意

- 本体の取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にすること
落下によりけがをするおそれがあります



必ず守る

- 必ず定格電圧・周波数を使用すること
火災や感電の原因になります



必ず守る

- 定められた環境範囲内で使用すること
モーターの焼損などによる思わぬ事故の原因になります

注意



接触禁止

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



禁止

- ドレン配管の先端を雨どいなどに入れないこと
冬期など雨どいが凍結した場合に排水されず、ドレン皿から水漏れする原因になります



必ず守る

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



禁止

- 製品の上に乗ったり、重いものを載せないこと
製品の変形や落下によるけがなどの原因になります

本書の記載について

■本文中の分類記号について

本製品には標準タイプ・厨房用タイプの2種類があります。

製品構造の違いにより、本文中に下記の記号を付けて区別しています。お買い上げの機種名とタイプをご確認のうえ、本書をお読みください。

厨房用タイプ

- BIS-301-CK
- BIS-601-CK

標準タイプ

- BIS-301
- BIS-601

共通

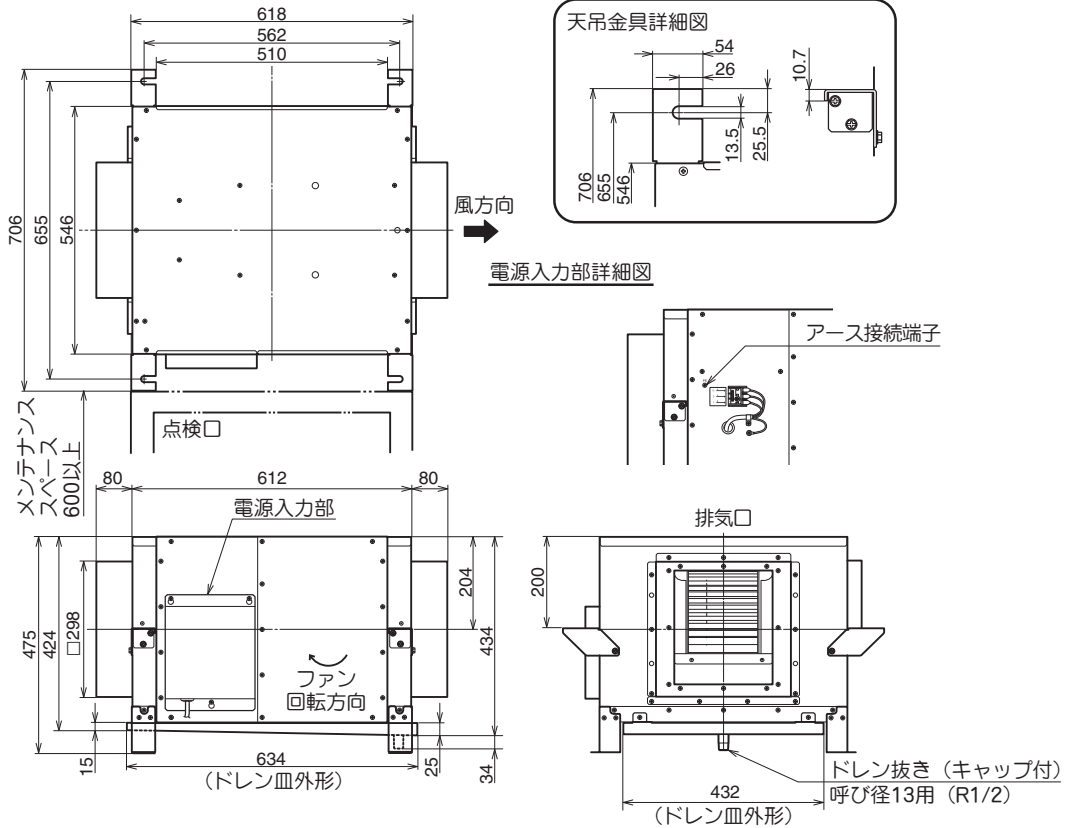
厨房用タイプ・標準タイプ
に共通な項目

製品寸法図

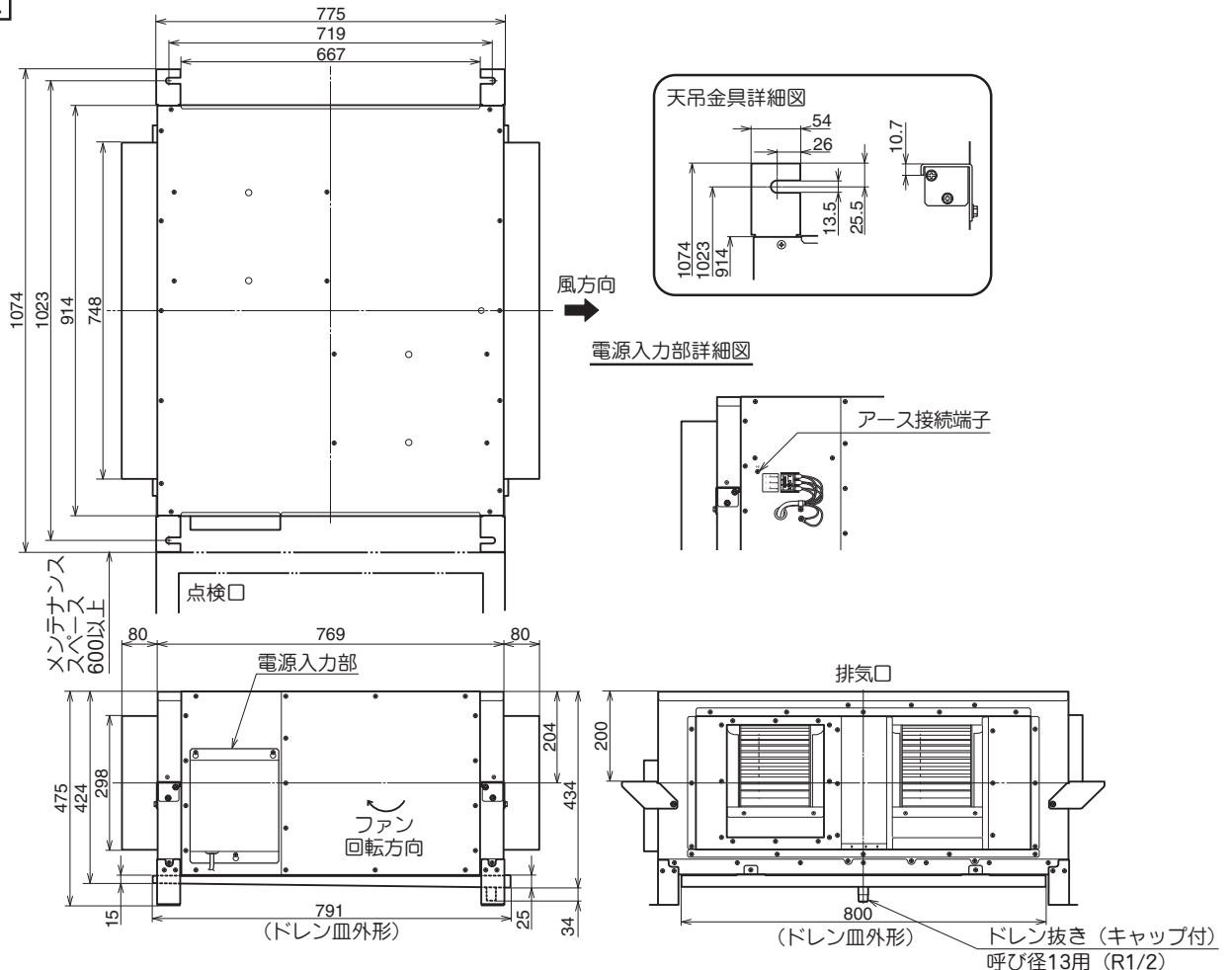
(単位: mm)

厨房用タイプ

BIS-301-CK



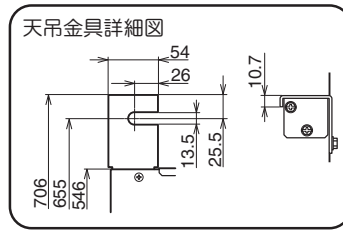
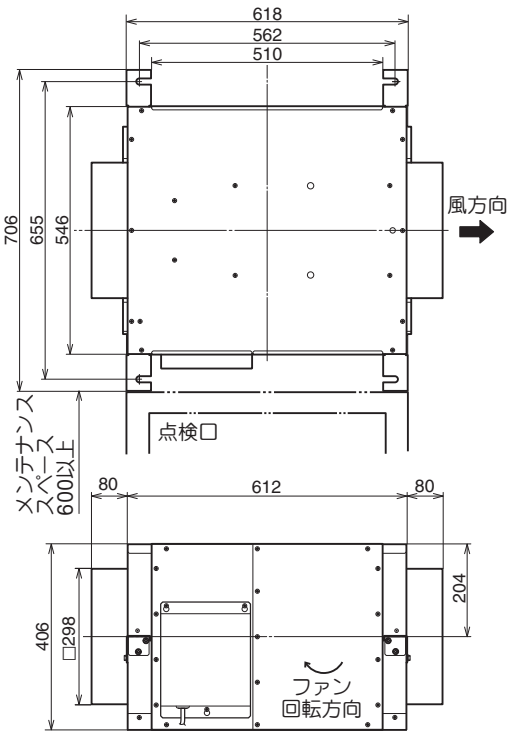
BIS-601-CK



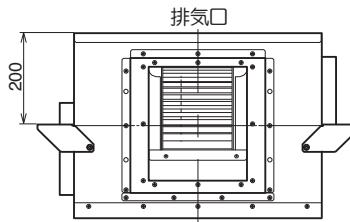
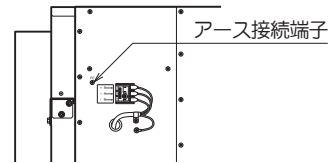
製品寸法図 (単位: mm)

標準タイプ

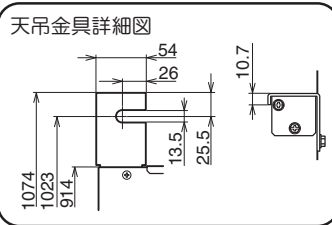
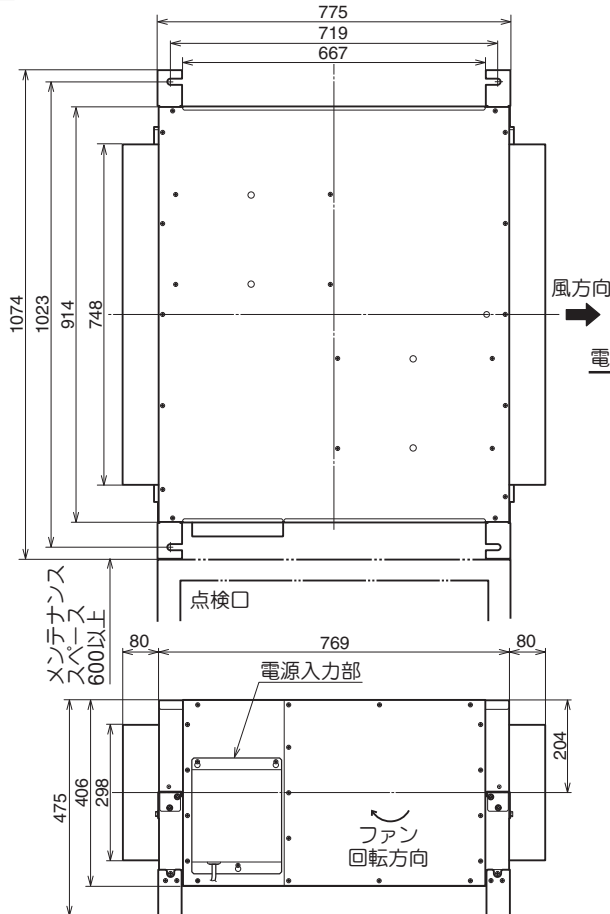
BIS-301



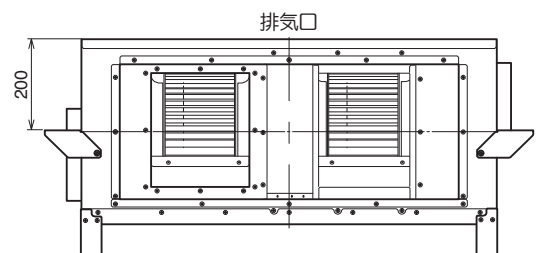
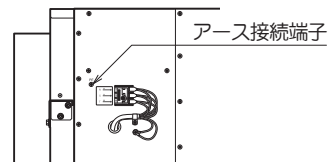
電源入力部詳細図




BIS-601




電源入力部詳細図



仕様



注意



● **必ず過負荷保護装置を設置すること**
モーター焼損の原因となります

必ず守る

厨房用タイプ

型名	電源		公称出力 (kW)	極数 (P)	ファン径 (cm)	接続ダクト寸法 (mm)	質量 (kg)	最大負荷電流 (A)	起動電流 (A)	騒音 (dB)	
	定格電圧 (V)	定格周波数 (Hz)								側面	吸込
BIS-301-CK	3相 200	50/60	1.0/1.5	4	30	□ 300	36	6.4/7.5	41/39	50/53	71/71
BIS-601-CK	3相 200	50/60	2.0/3.0	4	30×2	750×300	67	12.0/14.0	82/78	53/54	73/76

標準タイプ

型名	電源		公称出力 (kW)	極数 (P)	ファン径 (cm)	接続ダクト寸法 (mm)	質量 (kg)	最大負荷電流 (A)	起動電流 (A)	騒音 (dB)	
	定格電圧 (V)	定格周波数 (Hz)								側面	吸込
BIS-301	3相 200	50/60	1.0/1.5	4	30	□ 300	34	6.4/7.5	41/39	50/53	71/71
BIS-601	3相 200	50/60	2.0/3.0	4	30×2	750×300	62	12.0/14.0	82/78	53/54	73/76

使用環境条件

- 取扱空気：0℃～+ 80℃・相対湿度 98%以下
周囲空気：0℃～+ 40℃・相対湿度 90%以下
- 屋外（雨のかかる場所）や水のかかる場所、常時蒸気などが発生する場所、腐食ガスの発生するおそれのある場所、化学薬品を使用する場所では使用しないでください。
- プール、温泉での排気、塩素などの薬剤を使用する場所では、腐食のおそれがあるため使用できません。
- 粉じんの多い場所には設置しないでください。（多量の綿ボコリや砂塵が発生する倉庫、繊維工場、製陶工場や小麦粉、うどん粉が浮遊する店舗、厨房など）

取り付け前の調査と準備

取り付けの前に、以下をご確認ください。

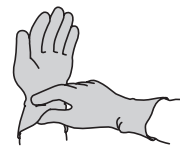
- 破損、変形はありませんか。
- ご注文通りの製品ですか。

注意



保護具を
着用する

- 開梱時、施工時、点検時には、手袋やヘルメットなどの保護具を着用する
けがややけどなどの原因になります

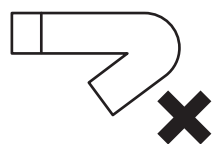


規制について

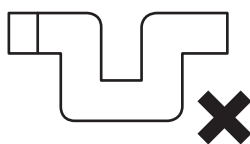
- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令によりダクトがφ150以下であれば2mの鋼板立上がりダクト、または煙逆流防止ダンパーを取り付け、φ150を超える場合は防火ダンパーを設置してください。
- 配管用システム部材については地区により規制が異なる場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にお問い合わせください。

お願い

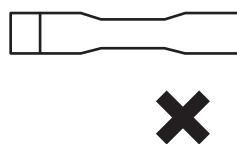
- 施工時、点検時には、手袋やヘルメットなどの保護具を着用してください。
- 製品の電源をご確認のうえ、取り付け工事をおこなってください。
- 吊りボルトおよび基礎ボルトは十分な強度のものをご使用ください。
- 吸込側には、ホコリなどが吸い込まれぬようフィルター（客先手配）を使用することをおすすめします。（フィルター圧損による風量低下にはご注意ください。）
- 給気口を設けてください。（効果的な換気ができません。）
- 煙突排気の燃焼器具を使用される部屋で排気する場合は、十分大きな給気口を別に設けてください。（排気ガスが室内に逆流し一酸化炭素中毒を起すことがあります。）
- 屋外への排気ダクトは、先端にパイプフード（客先手配）を取り付け、1/100以上の下り勾配をつけてください。（雨水が機内に入らないよう設置してください。）
- ダクト施工時は、製品本体に力が加わらないよう、ダクトを天井から吊るしてください。
- 下図のようなダクト工事はしないでください。①、②、③はダクト抵抗が大きくなり、④は気流の乱れ・衝突が発生します。吸込口・吐出口が閉塞に近い状態での運転となるので、振動や騒音値が大きくなるばかりではなく、風量の低下やモーターに悪影響を与えます。（目安：最大風量の10%未満での運転は避けてください。）



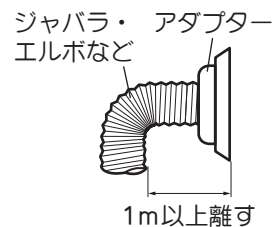
① 極端な曲げ



② 多数回の曲げ



③ 接続ダクト径を小さくする



④ アダプターのすぐそばでの曲げ

- ダクト接続フランジとダクトを固定したあとは、風漏れのないよう、アルミテープなど（客先手配）でテーピングしてください。
- 運転停止時、ファンが高速で逆回転しないよう、外風他による過度な風が接続ダクト内を流れないようにしてください。ファンの破損などによる故障の原因になります。（必要に応じて電動ダンパーなど（客先手配）を設けてください。）
- 屋外（雨のかかる場所）や水のかかる場所、常時蒸気などが発生する場所、腐食ガスの発生するおそれのある場所、化学薬品を使用する場所では使用しないでください。
- ダクト接続や電源接続の際、本体に穴を開けると本体内部の電装部を破損するおそれがありますのでおやめください。

取り付け前の調査と準備

- 取扱空気：0℃～+ 80℃・相対湿度 98%以下、周囲空気：0℃～+ 40℃・相対湿度 90%以下でご使用ください。
- 粉じんの多い場所には設置しないでください。
(多量の綿ボコリや砂塵が発生する倉庫、繊維工場、製陶工場や小麦粉やうどん粉が浮遊する店舗、厨房など)
- プール、温泉での排気、塩素などの薬剤を使用する所では、腐食のおそれがあるため使用できません。
- 油煙の発生する場所では、吸込側にグリスフィルターを取り付けてください。その場合、グリスフィルターは定期的に清掃をおこなってください。
- 冬場冷気を室内に給気する場合など、接続ダクトおよび製品本体の外部に結露を生じるおそれがあるときは、必ず断熱処理を施してください。

取り付けかた

お願い

- ・ 梱包から製品を取り出す際は、吊り金具を持って取り出してください。ダクト部を持つと製品が変形したり、けがをする原因になります。
- ・ 保守・点検ができる位置に、450mm 角以上の点検口を必ず設けてください。点検口の設置位置については次ページの「取り付け例」を参照してください。
- ・ ねじを高速でゆるめたり締めたりしないでください。(材質がステンレスのため、ネジが焼き付いてはずれなくなるおそれがあります。)

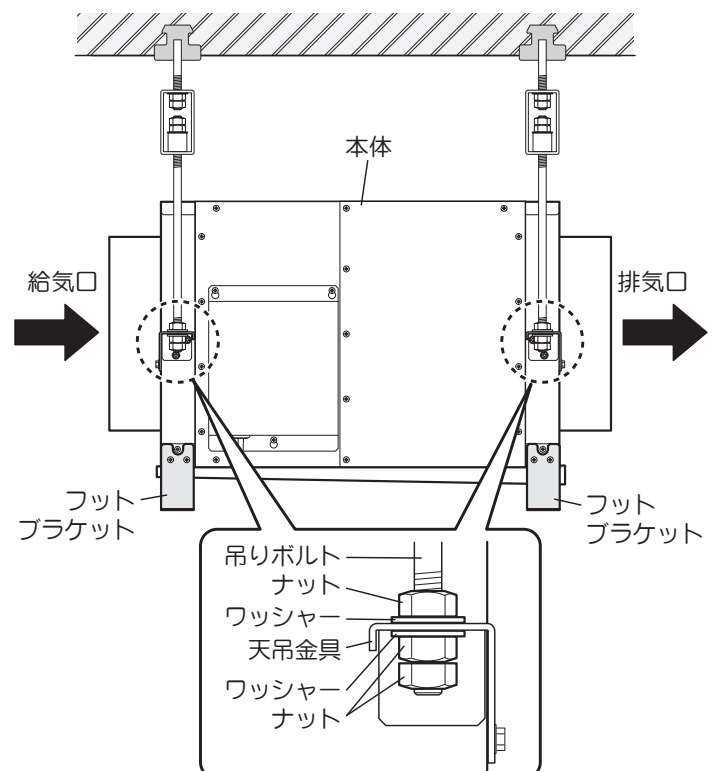
1. 本体の取り付け

共通

1 外形寸法図を参照し、強固な場所に市販の吊りボルトを埋め込みます。
(次ページ「取り付け例」参照)

2 本体が水平 (1° 以内) になるように本体を吊りボルトに取り付け、吊りボルトに合う寸法のワッシャー・ナット (M10～M12、市販品) を使用し締め付けます。

- ※ 製品表面に結露のおそれがある場合は、断熱処理をおこなってください。
- ※ 垂直取り付けはできません。
- ※ ゆるみ防止のため、ダブルナットで確実に締め付けてください。
- ※ フットブラケットは製品運搬時の破損防止用部材ですので、本体取り付け後に取りはずしてもかまいません。
ただしその場合、取りはずした穴位置には元通りにねじを取り付けてください。

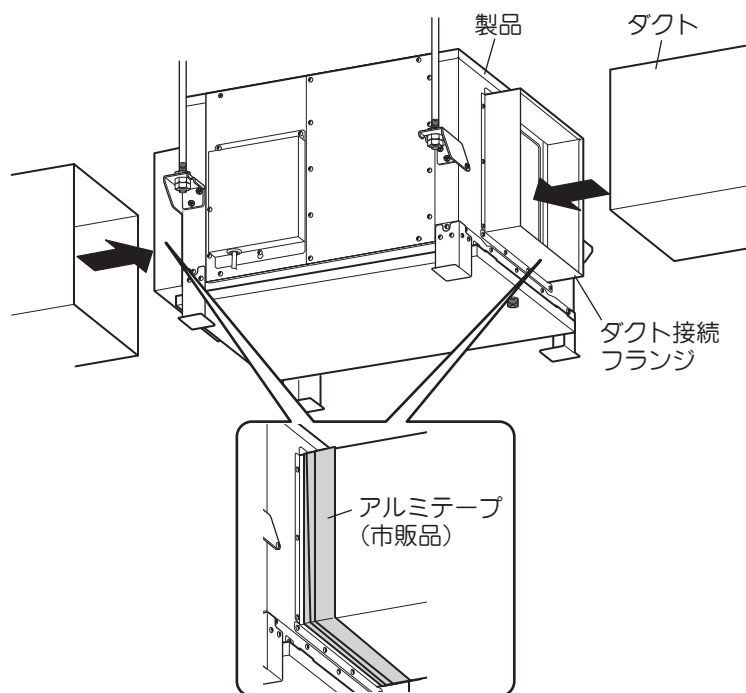


取り付けかた

2. ダクト工事

共通

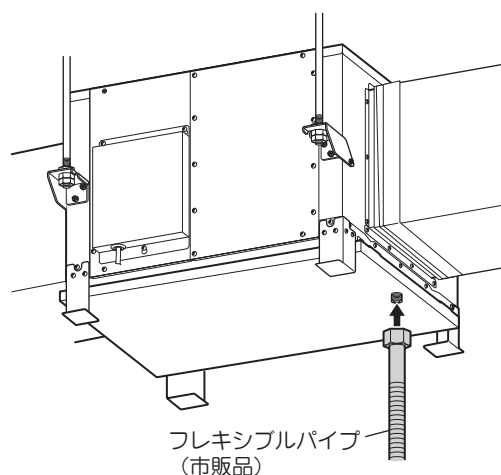
- 給気口側・排気口側ともダクトにダクト接続フランジをしっかりと差し込み、市販品のリベットまたはねじなどで固定し、風漏れのないよう市販のアルミテープでテーピングをおこなってください。
- 製品に力が加わらないよう、ダクトは天井から吊るしてください。
また、本体に穴を開けてダクト接続をしないでください。本体内部の電装部を破損し、漏電・火災・感電のおそれがあります。
- 結露のおそれのある場合は断熱処理をおこなってください。



3. ドレン抜き工事

厨房用タイプ

- 必ずドレン抜き工事をおこなってください。
- 製品下面にあるドレン抜きのキャップをはずしてください。
- ドレン抜きのねじは呼び R1/2 (呼び径 13 用) です。
- 市販の配管部材にて接続してください。(必ず金属パイプを使用してください)
- ドレン抜きへの配管部材の締付トルクは 30N・m 以下でおこなってください。(ドレン皿が変形するおそれがあります。)



お願い

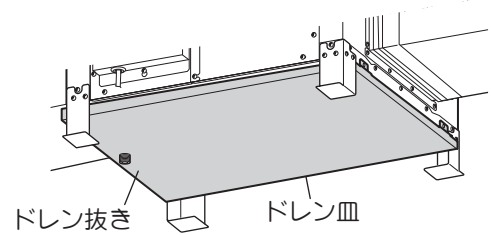
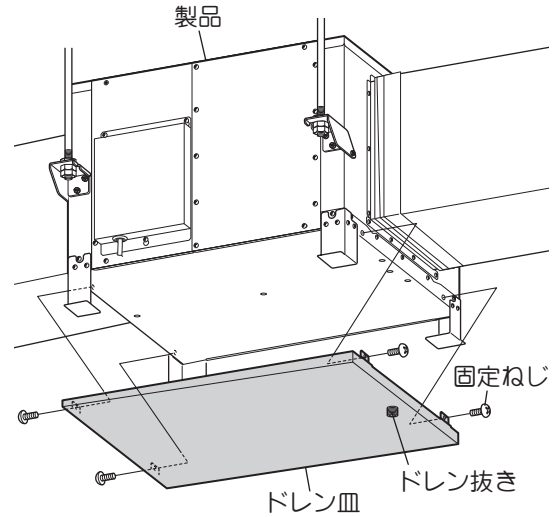
- ・ ドレン配管から油・水が漏れないように工事をおこなってください。
- ・ ドレン抜きとの接続は、ねじ部に市販のシーลテープを巻き付けてから接続してください。
- ・ パイプの端は必ず処理可能なところまで導き、ドレン処理を確実にこなしてください。
- ・ 配管処理はこう配をつけ、水および油がたまらないようにしてください。
- ・ ドレン配管に結露や凍結のおそれのある場合は、必ず断熱処理をおこなってください。

取り付けかた

■ドレン配管方向を変更する場合

設置条件により、ドレンの配管方向を変えたい場合は、以下の手順に従ってドレン皿の付け替えをおこなってください。

- 1) ドレン皿の固定ねじ4本（ドレン皿側）をはずします。
- 2) はずしたドレン皿を180度回します。
- 3) はずしたねじを使用して、製品にドレン皿を確実に固定します。



お願い

- 一般のねじは使用しないでください。腐食によりドレン皿が落下するおそれがあります。
- ねじを高速でゆるめたり締めたりしないでください。（材質がステンレスのため、ネジが焼き付いてはずれなくなるおそれがあります。）

取り付けかた

4. 電気配線

共通

警告



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと

発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 定格電圧・定格周波数以外では使用しないこと

火災・感電の原因になります



取付注意

- 電気工事は必ず有資格者である電気工事が電気設備技術基準や内線規程に従っておこなうこと
絶対に「手より接続」はしないこと

また、電源線の結線部分は JISC8340 の「電線管用金属製ボックス及びボックスカバー」内にておこなうこと
接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること

誤作動の原因になります
また、故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは施工管理会社にご相談ください

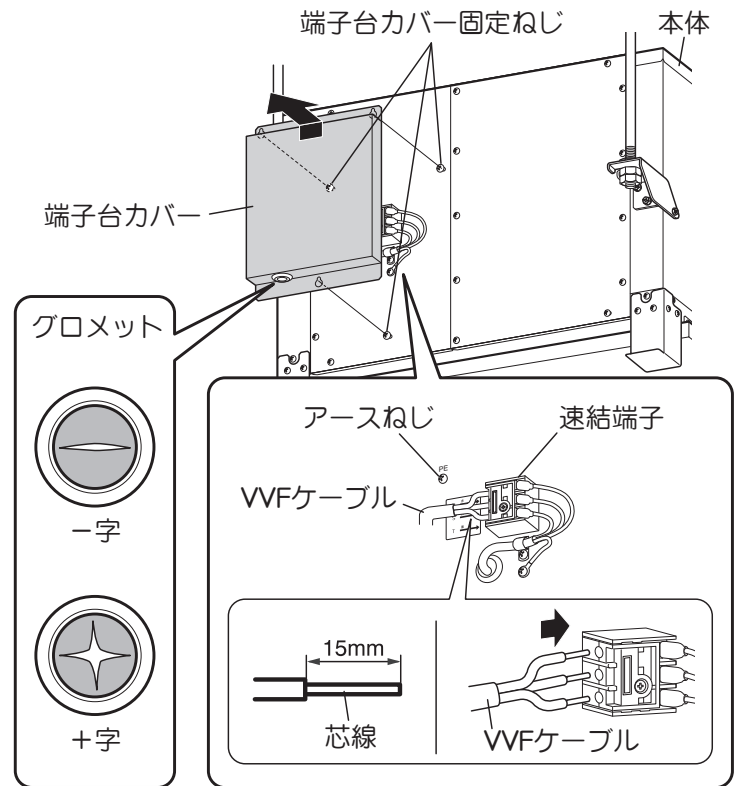
お願い

- ・配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にこなしてください。
- ・D種接地工事をおこなってください。
- ・過電流が流れたとき、モーター焼損防止のため、必ず機器1台ごとにモーターブレーカー、または電磁開閉器（電磁接触器＋サーマルリレー）の過負荷保護装置を取り付けてください。（モーターブレーカーなどの選定にあたっては、「仕様」に記載された最大負荷電流の1.4倍を目安にしてください。）
- ・端子カバーを開け、電源線を端子カバー内の端子台に結線してください（次ページ参照）。
- ・本製品のモーター内部にはモーター保護用の温度ヒューズが装着されています。定格と異なった電圧による運転、誤結線での運転などの異常使用でモーター巻線の温度が上昇しつづけた場合に温度ヒューズが作動し、ファンを停止させます。一旦温度ヒューズが作動すると、モーターは復帰（回転）しません。異常の原因を調査し、正常の使用状態にてモーターの交換をしてください。
- ・ダクトを接続する前に、必ず回転方向を確認してください。（メンテナンスパネルをはずすとモーターユニット組側面に回転方向ラベルが貼ってあります。）電源接続を間違えた場合、ファンが逆回転します。回転方向が逆の場合は3本の電源配線のうち2本を入れ替えてください。
- ・「入」・「切」運転をする場合は、送風機用スイッチ（送風機用制御部材）が必要です。結線および使用方法は送風機用スイッチに付属の取扱説明書を参照してください。なお、送風機用スイッチのみでの制御はできません。必ず送風機用コントロールユニット（送風機用制御部材）、または電磁接触器と組み合わせて結線してください。
- ・インバーター運転をおこなう場合は、異常な振動、共振、騒音などが発生しないよう、現場施工状態に応じてインバーター側の設定をお願いします。（各インバーターの設定については、インバーターの取扱説明書をご参照ください。）
- ・インバーターで制御する際に、各製品ごとの定格周波数を上回る設定では運転しないでください。

取り付けかた

端子台結線のしかた

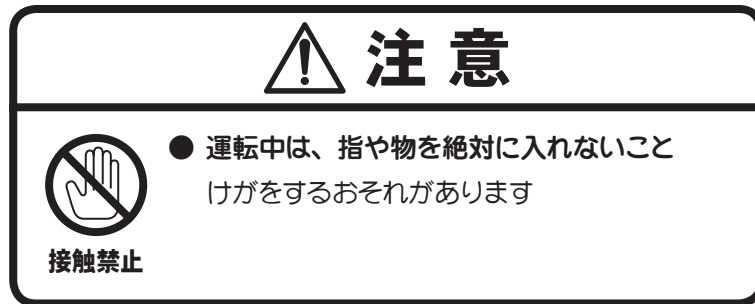
- 1 端子台カバー固定ねじ 3 本をゆるめ、端子台カバーをはずします。
- 2 端子台カバーのグロメットに、切り込みを入れます（一字または十字）。
- 3 先端を 15mm 皮むきした芯線（VVF ケーブルφ 1.6、またはφ 2）をグロメットの切り込みに通してから、速結端子に確実に奥まで差し込みます。
- 4 結線完了後、D種接地工事をおこなってください。
- 5 正常に運転することを確認してから、端子台カバーを元通りに取り付けます。



取り付けかた

5. 試運転

共通



取り付け、ダクト工事、電気工事終了後は必ず試運転をおこない、正常に運転できることを確認してください。

- 製品は確実に取り付けられているか
- 電源コードに傷や傷みがないか
- 電源電圧は正しいか
- 正しく結線されているか
- 正しくアース工事がされているか
- 異常な振動や騒音・風漏れはないか
- 回転方向が逆になっていないか
(3相製品で逆回転している場合は、3本の電源線のうち2本を入れ替える)
- ファンは回転するか、また、回転が遅くないか
(回転しない、回転が遅い場合は結線が正しくおこなわれているかを確認する)

保守・点検

長期間安全にご使用いただくため、以下のことを守ってください。


- 1) 定期点検はお買い上げの販売店、または工事店へご相談の上ご依頼ください。お困りの場合は「お客様ご相談窓口」(裏表紙)までご連絡ください。
- 2) モーターの推定寿命時間は約1万時間ですが、使用状況によりモーターの寿命は異なります。異常音などが確認されたときは、モーター交換をおこなってください。


お願い

定期点検をおこなうことで運転の効率が維持され、無駄なエネルギー消費がなくなるだけでなく、機器の寿命を長くすることができます。(使用条件が厳しい場合、点検周期は次ページの表に記載の頻度よりも短くしてください。)

■日常点検


初期状態と比べ、著しい騒音・振動の発生がないか、運転状態の確認(聴覚・触感などによる)をしてください。


**警告**



**ブレーカー
を切る**


- お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切ること
感電やけがの原因となります

**注意**



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



- フィルター(給気口側)をご使用の場合は定期的に清掃をおこなってください。
給気口側に取り付けられた市販品のフィルターは、種類・仕様により清掃方法も異なりますのでご注意ください。
- フィルターの目詰まりは風量の極端な減少の原因になります。

保守・点検

定期点検（サービス会社様へ）

下表を参考の上、点検をおこなってください。

記号の説明

○：定期点検 [2回/年 (6ヶ月ごと)]

◆：定期交換部品の取り替え

部品名	経過年数															点検内容	判定基準 (目安)	保全内容	備考
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15				
1 送風機全体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	騒音、振動の確認 (聴覚、触感など)	著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・基礎ボルト、吊りボルトの増し締め ・補修困難な場合は製品交換	
																取り付けねじ類のゆるみ確認 (工具による)	ゆるみなきこと	工具による増し締め	
2 ケーシング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	外観の確認 (目視点検)	著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換	
																騒音、振動の確認 (聴覚、触感など)	異常音、異常振動のなきこと	・各取り付けねじ部の増し締め ・接触による損傷がある場合は部品交換	
3 モーターユニット組	○	○	◆	○	○	◆	○	○	◆	○	○	◆	○	○	外観の確認 (目視点検)	著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換	定期交換部品	
															回転状態の確認 (目視、手回し)	・異常音のなきこと ・ケーシングとの接触なきこと	接触による損傷がある場合は部品交換		
															ファン固定ナットのゆるみ確認 (工具による)	著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	工具による増し締め		
															騒音、振動の確認 (聴覚、触感など)	異常音、異常振動のなきこと	異常時は部品交換		
4 メンテナンスパネル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	外観の確認 (目視点検)	著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換		
5 端子台	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	端子、ねじ類のゆるみ確認 (工具による)	ゆるみなきこと	工具による増し締め		
6 ドレン皿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	外観の確認 (目視点検)	著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換		
															ドレン抜きのつまり確認 (目視点検)	つまりなきこと	・つまり清掃 ・異常時は部品交換		

保守・点検

■清掃方法（各部品は分解要領に基づいて分解してください）

- モーターユニット組、ケーシング、メンテナンスパネル、ドレン皿などに付着した油污は、中性洗剤を浸した布でふき取り、乾いた布でから拭きしてください。（酸性、アルカリ性などの洗剤は使用しないでください。）
- 油煙の発生が多い場合は、メンテナンスの期間を前ページの表より短くしてください。
- ねじを高速でゆるめたり締めたりしないでください。（材質がステンレスのため、ねじが焼き付いてはずれなくなるおそれがあります。）

■分解要領

モーター交換の際など、分解が必要となる場合は以下の手順に従って分解をおこなってください。

警告



ブレーカー
を切る

- 作業の際は必ず分電盤のブレーカーを切ること
感電やけがの原因となります

注意

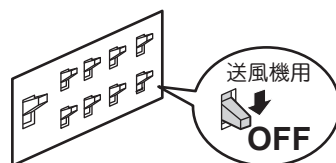


手袋をする

- 作業の際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

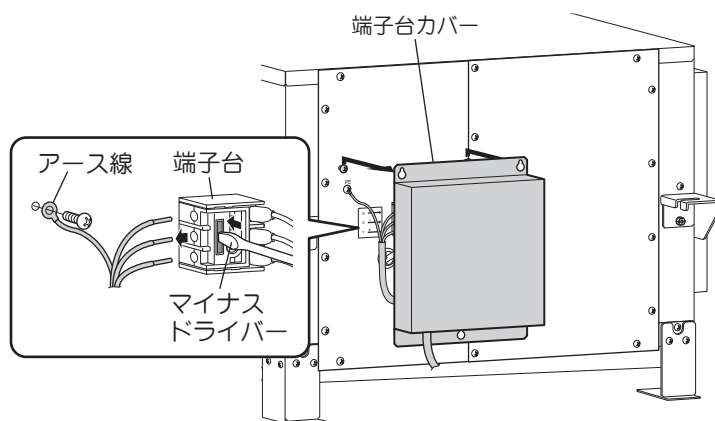


1 電源（ブレーカー）を切ります。



2 端子台カバーをはずし、電源線ははずします。

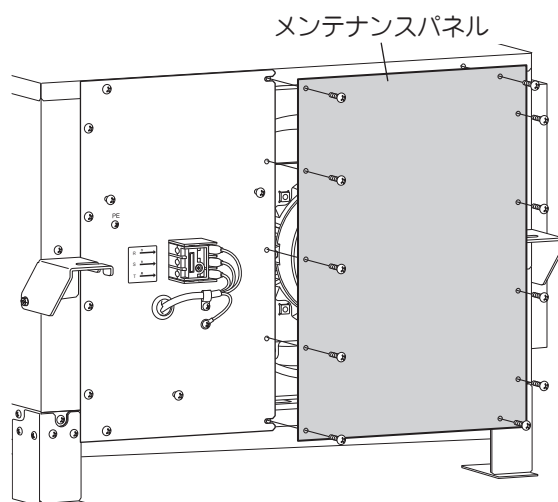
- 1) 端子台カバーを固定しているねじ3本をゆるめ、端子台カバーをはずします。
- 2) アース線ははずします。
- 3) マイナスドライバー等を使い、端子台に接続されている電源線3本をはずします。



3 メンテナンスパネルをはずします。

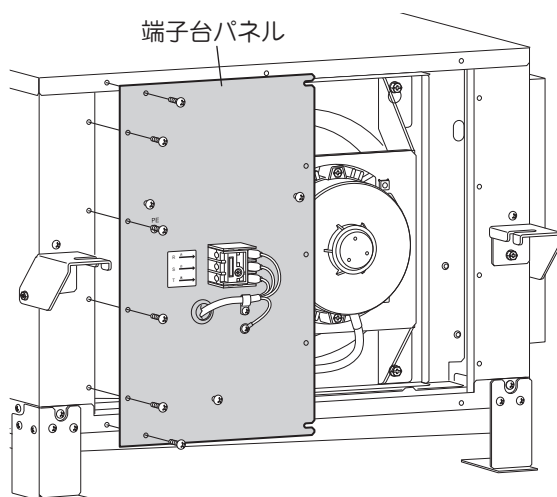
メンテナンスパネルを固定しているねじ11本（BIS-601-CK / BIS-601の場合は13本）をはずし、メンテナンスパネルをはずします。

※ 右図は BIS-301-CK の場合



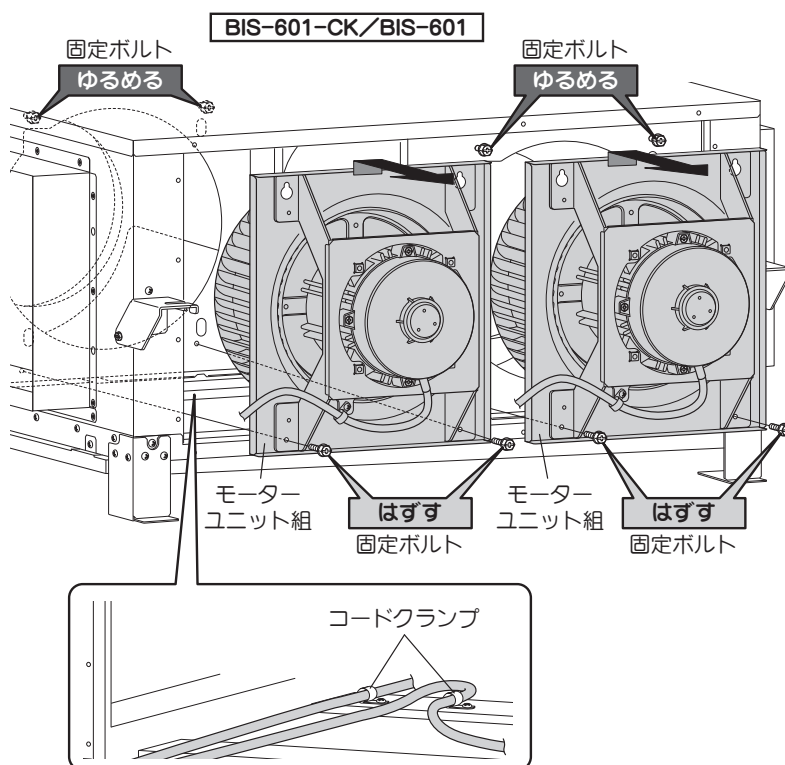
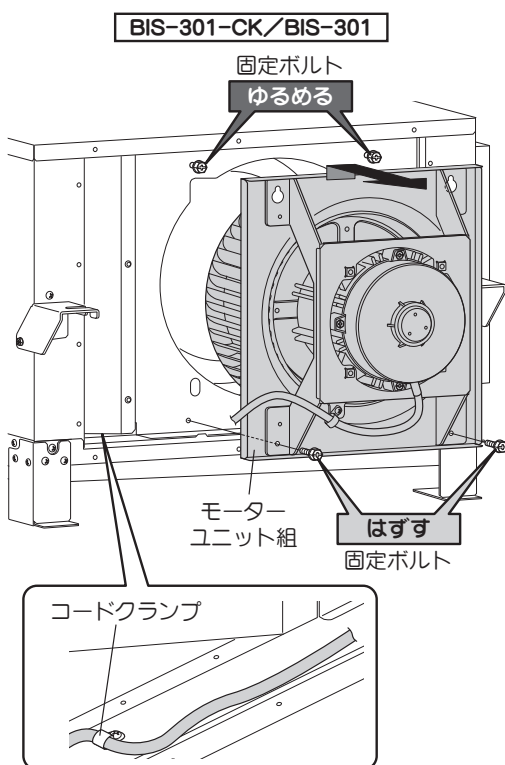
保守・点検

- 4** 端子台パネルをはずします。
端子台パネルを固定しているねじ6本をはずし、端子台パネルをはずします。



- 5** モーターユニット組をはずします。

- 1) 下図に示す位置にあるコードクランプをはずします。
- 2) モーターユニット組を固定している固定ボルトのうち、下側2本をはずします。
- 3) 上側2本の固定ボルトをゆるめ、モーターユニット組をやや持ち上げるようにしながら手前に取りはずします。
- 4) BIS-601-CK / BIS-601 の場合はもう1台のモーター組も同様の手順ではずします。



お願い

モーターユニット組は重さがありますので、落下させないように必ず両手でしっかりと持って取り出してください。

■ ■ 保守・点検

6 ドレン皿をはずします。
「ドレン配管方向を変更する場合」(12 ページ) を参考にせずしてください。

お願い

- ・ 分解作業時は、ねじ等の部品をドレン皿内部に落とさないようご注意ください。
- ・ 組み立ての際は、モーターのリード線をコードクリップで確実に固定し、ファンに巻き込まれないようにしてください。
- ・ モーター、ドレン皿は特に重量があります。落下させないように注意して作業をおこなってください。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証

- ビルトインシロッコファンの保証期間は納入の日から1年といたします。保証期間中正常な使用にもかかわらず、当社の設計、加工などの不備により故障または異常が発生した場合は、故障または異常の部位を無償で修理いたします。ただし客先での改造、仕様変更、保管中の破損、故障または異常に起因する各種損害などについてはその責を負いません。
 - (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (2) お買い上げ後の落下や輸送上の故障および損傷。
 - (3) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷。
小動物や虫の行為による故障および損傷。
 - (4) 本書のご提示がない場合。
 - (5) 本書にお客様名、お買い上げ日、販売店名のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 - (6) 車輛、船舶などに、備品として使用した場合に生ずる故障および損傷。
 - (7) 消耗部品の交換。
 - (8) 取扱説明書に記載された方法以外の取付内容に起因する故障および損傷。
 - (9) 建築躯体の変形など対象商品以外の不具合に起因する故障および損傷。

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または富士工業株式会社「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。

- 製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において1年間です。

ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。

- (1) 火災、地震、風水害、落雷、その他天地災害、異常電圧等不慮の事故および海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境により生じた故障および損傷。
- (2) 使用上の誤り、改造等による故障および損傷。
- (3) ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合。

富士工業株式会社
「お客様ご相談窓口」

0120-071-686 (通話料無料)

お問い合わせ受付時間 9:00 ~ 17:30
(土、日、祝日、夏期休暇、年末年始を除く)

修理を依頼されるときは

故障と思われる場合は下表に従って点検し、なお異常のあるときは必ず電源を切り、お買い上げ日と下記項目を確認のうえご連絡ください。

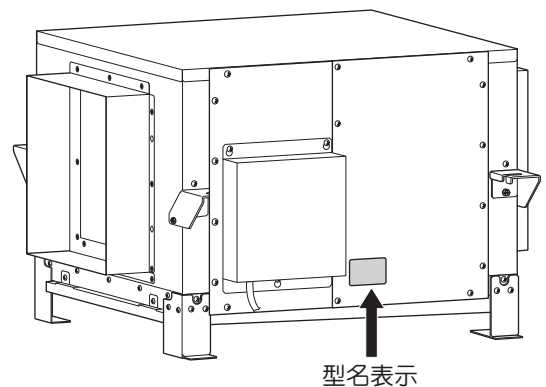
- | | |
|-------------------|----------------------------------|
| 1. 製品名 | 4. 使用状態（設置状況、使用期間、1日あたりの運転時間など） |
| 2. 品番・製造番号（銘板に記載） | 5. 故障の状態（いつごろからか、またどんなときに発生するのか） |
| 3. 風量・静圧・運転電流値 | 6. 取扱気体（一般換気用か、清浄空気か、また用途は） |

原因	症状	風量不足	騒音過大	振動過大	モーター過熱	運転しない	対策
基礎が弱い		○	○	○			基礎補修
取り付け不良		○	○	○			取り付け調整
定格と異なった電圧による運転		○	○	○	○	○	電源確認
回転体と静止部の接触		○	○	○	○	○	点検・調整
異物混入、塵埃付着		○	○	○	○	○	点検・清掃
ダクト工事不良		○	○	○			ダクト改善
回転方向逆		○					モーター結線の入替え
誤結線		○	○		○	○	結線変更

ご連絡していただきたい内容	
品名	ビルトインシロッコファン
型名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

お買い上げの際に記入しておくことでサービスを依頼される時に便利です。

ビルトインシロッコファンの型名は、製品の下図位置に表示してあります。



型名表示

愛情点検



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異音や振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。

ご使用中

このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカーを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

★長年ご使用の製品の点検を

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。



お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理依頼について

修理を依頼される時は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

	ご購入店名（販売店）		
お客様メモ	電話番号	—	—
	ご購入年月日	年	月 日

交換部品などのご購入は

フジテックメンテナンス株式会社

お申し込み・お問い合わせ 0120-953-903（通話料無料）

FAX 042-768-3383

ホームページ <https://www.fujioh.shop>

受付時間 9:00～17:30（土、日、祝日、夏期休暇、年末年始を除く）



〔製造元〕 **-FUJIOH-** 富士工業株式会社

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号

お客様ご相談窓口 0120-071-686（通話料無料）

受付時間 9:00～17:30（土、日、祝日、夏期休暇、年末年始を除く）